

- ●有機リン剤・カーバメート剤・合成ピレスロイド剤などに効きにくくなった害虫に有効である。
- ●幅広い殺虫スペクトルを有する。
- ●高い活性があり、少ない薬量で長い残効性がある。
- ●速効性と強い浸透移行性を併せ持つ薬剤である。
- ●ミツバチ・マルハナバチに影響が少ない。
- ●液体タイプの剤型で、計量が簡単にできる。
- ●速やかに水に溶けるので、散布液の調製に手間がかからない。。

【使用上のポイント】…………

●ばれいしょに対して希釈倍数1000倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した 乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する。

【薬効・薬害等の注意】 …………

- ●少量の水で希釈すると結晶が析出する場合があるので、所定量の水で希釈する。
- てんさいに使用する場合,使用濃度・使用量を 守って使用する。(定植初期の幼苗に軽度な薬害)
- ●散布液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節する。
- ●共通注意事項 8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】 ……………

- ●蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園 のある場合は絶対に桑葉にかからないようにする。
- ●眼に対して刺激性がある。
- ●無人航空機散布の際は、共通注意事項の2.空中散布及び無人航空機(無人ヘリコプター等)による散布・滴下に関する注意事項を参照。









【適用と使用法】・

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	アセタミプリドを含 む農薬の総使用回数
かんきつ	アブラムシ類 ミカンハモムグリカンハナムググリケシキスイ類 アゲハ類 ラミ類 アザミウラシミ アガブラシミキリ成ウシミキリがラク類 カマメムシバエ	4000倍 2000~ 4000倍	200∼ 700ℓ	14日前まで	3回以内	散布	3回以内
	ゴマダラカミキリ	200~ 400倍	30 ∼ 75 ℓ			主幹から 株元に散布	

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	アセタミプリドを含 む農薬の総使用回数
キウイフルーツ	キウイヒメヨコバイ		200∼	7日前まで		り り	3回以内
びわ	アブラムシ類	4000倍	700 ℓ	前日まで			
	テントウムシダマシ類	4000 III					4回以内 (植付時の土 壌混和は1回 以内, 植付後
ばれいしょ	ナストビハムシ	0000	100~	7日前まで -			
		2000~ 6000倍	300 ℓ 25 ℓ 3.2 ℓ				
いすれいってて		1000倍					
							は3回以内)
		64倍				による散布	
とうもろこし		4000~ 6000倍	100∼	14日前まで			
(子 実)			300 ℓ			散布	
未 成 熟	アブラムシ類	ООООП	0001	前日まで		for to delicate the	
とうもろこし		64倍	3.2 ℓ			無人航空機	
豆類						による散布	
一(種実, 但し,							
だいず、あずき、		100011					
いんげんまめを		4000倍			3回以内		
除く)		2000~ 4000倍	-	14日前まで	3回以內		3回以内
だいず	カメムシ類						
	マメシンクイガ						
	フタスジヒメハムシ ノメイガ類	4000倍 2000倍					
あずき	アブラムシ類						
, ,	マメホソクチゾウムシ	2000~					
いんげんまめ		4000倍					
やまのいも				7日前まで			
やまのいも				21日前まで			
(むかご)	アブラムシ類	4000倍	100∼	21日削まし		107.7	
			300 ℓ			散布	4回以内
はくさい							(粒剤の定植時ま での処理は1回以
ブロッコリー				14日前まで			内、散布及び定植
, -, -,	コナガ	2000倍					後の株元散布は合
	アオムシ						計3回以内)
		4000倍				1	6回以内
	アブラムシ類						(粒剤の定植時までの
キャベツ				7日前まで	5回以内		処理は1回以内,散
	コナガ	2000倍					布及び定植後の株元 散布は合計5回以内)
	アオムシ					-	既申は日刊 3 門及門)
だいこん				14日前まで	1回		1回
はつかだいこん	アブラムシ類	4000倍		1111100	- 11		
にんじん				前日まで		1	
たまねぎ	アザミウマ類	2000~	1	7日前まで	3回以内		3回以内
たま43さ	ノッミフィ畑	3000倍		7日間まで			

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	アセタミプリドを含 む農薬の総使用回数
ね ぎ	アザミウマ類	2000~ 3000倍	100 ~ 300 ℓ	7日前まで	3回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌 混和は1回以内, 植付時の土壌混 和及び定植当日 までの株元散布 は合計1回以内)
アスパラガス	カメムシ類	- 4000倍 - 2000~ 4000倍		前日まで	2回以内		2回以内
豆 類 (未成熟,但し, えだまめ, さやいんげん, さやえんどう を除く)	アブラムシ類			7日前まで	3回以内		3回以内
えだまめ	アブラムシ類 カメムシ類 マメシンクイガ フタスジヒメハムシ						4回以内 (は種時又は 定植時の土壌 混和は合計1 回以内, 散布 は3回以内)
さやいんげん さやえんどう				前日まで			3回以内
	アブラムシ類						3回以内 (粒剤の定植時 までの処理は 1回以内,散 布及び定植後 の株元散布は 合計2回以内)
麦 類	ムギキモグリバエ	4000~ 6000倍	60 ~ 150 ℓ	7日前まで			2回以内
てんさい	アブラムシ類 テンサイトビハムシ ヨトウムシ カメノコハムシ	4000倍	100 ~ 300 ℓ	3日前まで	3回以内	苗床灌注	3回以内 (苗床灌注は 1回以内)
	テンサイトビハムシ	200倍	ペーパー ポット 1 冊当り 1 ℓ (3ℓ/m²)	定植前	10		
茶	コミカンアブラムシ チャノホソガ ツマグロアオカスミカメ マダラカサハラハムシ	4000倍	200 ∼ 400 ℓ	摘採7日 前まで	1 번		1回